

序



我が国の教育は戦後著しく普及し発展してきましたが、近年における社会の急激な変化や教育の量的拡大等は教育の在り方にも大きな影響を与え、今日、様々な問題が指摘されております。

国においては、これら国民的要請に対応して「臨時教育審議会」を設置し、去る6月には「教育改革に関する第1次答申」が提言されたところであります。

本県においても、国の文教施策の動向を見極めて、21世紀を指向した教育行政運営の基本となる昭和60年度から昭和70年度までの第3次福島県長期総合教育計画を策定したところであります。

昭和59年度においても「未来をひらく、心豊かなたくましい人間の育成」をめざして6つの重点施策をかけ、その実現のため総合的、計画的に教育行政を展開してきましたが、ここに、これらの実績をまとめた「教育年報」を刊行することとなりました。

この「教育年報」が、昭和59年度の歩みを知り、さらに分析、検討の資料として活用され、明日の本県教育に生かされるものとなれば幸いであります。

昭和60年10月

福島県教育委員会

教育長 佐藤昌志